

原始火起こしについて

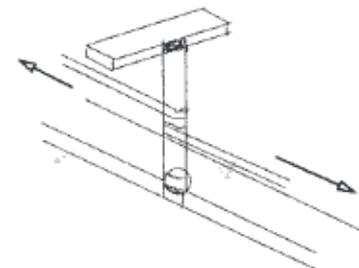
1 用具の準備

- (1) (右の写真のように) 用具を準備する
- (2) 麻ひもをほぐし、綿状にして火口を作る



2 火起こし開始

- (1) 火起こし用の板の下に麻布を敷く
- (2) 溝に棒の先を当て、上から棒を押さえ、ひもを棒に1~2回巻き付け、リズムカルに素早く引き合い、棒を回転させる
- (3) 溝から茶色い粉が煙とともに出てくる
- (4) 黒い粉が出て、さらに温度が上昇し続けると小さな赤い火種ができてくる
※すぐに火種をすくい上げるのではなく、より大きな火種を目指す
- (5) 手早く火種を麻布で、軽く包み込み、息を継続して吹きかける
- (6) 炎が上がったら、速やかに灰缶に火を入れる
※炎は一瞬で燃え上がるので注意が必要!
- (7) 火種が燃え尽きないうちに、ランタンに火を移す
(野外炊飯時は文化たきつけに火を移す)



3 用具の片付け

- (1) 使用した用具を、もとの場所に片付ける

